

第7回「浜岡原子力発電所5号機海水流入事象に係る 設備健全性評価検討委員会」の議事内容について

2014年12月25日

当社は、2011年5月14日に、浜岡原子力発電所5号機の原子炉停止後の冷温停止操作過程で発生した主復水器細管損傷事象に伴い系統内に海水が混入したため、塩分の除去作業を実施するとともに、海水が混入した設備の点検および健全性評価を進めております。

現在、海水が混入した設備の点検および健全性評価を進めていますが、評価に際し専門家からご意見を聴くことを目的に設備健全性評価検討委員会を設置し、適時開催しています。

([2011年8月29日](#)お知らせ済み)

このたび、第7回委員会を2014年12月16日に開催し、その議事内容を別紙のとおり取りまとめましたのでお知らせします。

【これまでにお知らせした内容】

設備健全性評価検討委員会について※

第1回委員会の議事内容 ([2011年9月9日](#)お知らせ済み)

第2回委員会の議事内容 ([2012年6月18日](#)お知らせ済み)

第3回委員会の議事内容 ([2012年11月12日](#)お知らせ済み)

第4回委員会の議事内容 ([2013年9月20日](#)お知らせ済み)

第5回委員会の議事内容 ([2014年3月19日](#)お知らせ済み)

第6回委員会の議事内容 ([2014年10月3日](#)お知らせ済み)

設備健全性評価検討委員会の傘下に設置している原子炉・タービン材料ワーキンググループ(以下、「WG」という。)および燃料材料WGについて

第2回WGの議事内容 ([2011年12月26日](#)お知らせ済み)

※ 設備健全性評価検討委員会の開催時は、原子炉・タービン WG および燃料材料 WG も兼ねるものとして実施しています。

以 上

第7回 浜岡原子力発電所5号機
海水流入事象に係る設備健全性評価検討委員会 議事要旨

1. 開催日

2014年12月16日（火）14:00～18:00

2. 場 所

当社 東京支社

3. 概 要

(1) 全体工程 [\(資料1\)](#)

全体工程として、実績概要、今後の概略予定を説明した。

(2) 燃料健全性評価について（最終報告）[\(資料2\)](#)

燃料健全性の最終報告として、異物等の回収・分析結果、およびこれまでの委員会で報告してきた材料試験結果等を説明した。

また、これまでの委員会における燃料に関するご質問・ご意見の対応が完了していること等を説明した。

4. 委員からの主なご意見・ご質問

(1) 主なご意見

燃料調査、燃料材料検査の結果から、燃料の継続使用に係る健全性へ影響はないとの評価については妥当であると考えられる。

(2) 主なご質問

（ご質問）：継続使用後の燃料健全性の確認として、次回定期点検時に行う予定の外観点検および酸化膜厚さ測定は、抜取りでやるのか。また、どういった考え方で抜取るのか。

（回 答）：今回の調査・試験結果から燃焼度の違いによって腐食挙動の差はみられなかったものの、燃焼度が高いもの、低いもの、長期使用する予定のものを選定し抜取りで行う予定である。

（ご質問）：燃料の内側で確認された金属くずは全面的に腐食していたのか。また、それで脆くなっていたのか。

（回 答）：金属くずは、回収時に腐食が進んでいる部位の碎ける様子が観察されており、また、外観観察結果からも全面的に腐食しているものと考えている。

以 上